

修了生の感想

職域開発科 物流・組立ワークコース

匿名希望さん

皆様、お疲れ様です。僕は、先日訓練を修了させていただいた者です。

訓練生の中でも歳をとっていただけいか中々調和がとれなかったことも事実ですが、国立職業リハビリテーションセンターの指導員さんや社会復帰という目標を持つ仲間の支えがあって、喜怒哀楽などの感情の起伏が大きかった自分に忍耐力が身に付き、無事に1年間訓練生活を過ごすことができました。

物流・組立ワークコースの訓練では、ピッキング、部品の仕分け、組み立て作業など様々なことに取り組みました。ピッキングは伝票をしっかりと見る力、部品の仕分けは製品を丁寧に扱う力が身に付きました。また、組み立て作業は、器用ではないので手先を動かすのは得意ではありませんでしたが、日々の訓練で手先を動かすのが早くなりました。カゴ車・台車の訓練では、台車の曲がり方や荷物の安全な運び方、商品の扱い方（荷台の乗せ方）などを学びました。

人生においての1年はたいしたことは無いと思われるかもしれませんが、僕にとって訓練生活を過ごした時間は大切な1年でした。体力的にも気持ち的にも一回り大きくなった気がします。

日々の訓練や指導員さんのおかげで、今はA型事業所で働かせていただいています。仕事は一言でいうと精神的には楽ですが、体力的にきついです。しかし、訓練で培った気持ち（長い時間働くことや1日頑張るという意識）で乗り切っています。

訓練が役に立っていると感じた所は、キーホルダーのナスカンを組み立てる作業です。ラジオペンチを使い細かい作業が必要ですが、訓練で手先を動かすことが早くなったため上手く作業に取り組んでいます。また、就業初日に行った草刈り作業は、ハードに感じましたが、基礎体力訓練で体力をつけていたおかげで最後まで作業ができました。

もし、職リハを修了、あるいは利用していなかったらと考えると、いつまでも進歩がない自分がいたでしょう。結果、職リハを修了して何においても頑張れる、もうひと踏ん張りできるという気持ちになったのは間違いありません。

これも指導員さんのおかげです。本当にありがとうございました。

※職域開発科物流・組立ワークコースは令和5年度から
物流・資材管理科物流・資材管理コースに改編しました。



ハロートレーニング
— 急がば学べ —